

コンビネーション 208号

獅子搏兔(ししはくと)

ライオンはうさぎを捕まえるのに全力を出す

<函館チェスサークル・インターネット通信>

2012年 9月21日発行



<ハンディ・ブリッツ大会の様子>

内田大河君ら6名が同時優勝

9月14日実施のハンディ・ブリッツ大会に30名が参加しました。結果は内田大河君ら6名が同時優勝でした！ トップに上位陣が入り、少しゆるいハンディだったようですが、下位の生徒が思ったより勝てなかった、…というより勝ち方をよく知らなかったという課題が明らかになりました。

トロフィーはありませんが、下記の入賞者に次回賞状を贈呈します。

<入賞者>

優勝： 内田大河、金城透弥、田中春行、石橋洸太、桑原博暉、今野周（4点）

女子優勝： 山上未咲（3点）

獅子搏兔(ししはくと)

「ライオンはうさぎを捕まえるのに全力を出す。」という意味のことわざが今週の金言です。

格下の相手に絶対力を抜かないでください！

それは一生懸命向かってくる相手に失礼です。(逆の立場で考えてください) それに、弱い相手がミスすることを予想した手を指して勝っても、知らない

うちに勝負カンが狂い、あなたが弱くなるからです。

相手が弱いと思うなら1つのミスなく最短で勝ち切ってください。それが本当の思いやりであり、どんな相手からでも学べることだからです。

負けても気にしないで！

試合のやり方を学ぶための2学期公式戦ですが、一応レーティングをかけた真剣勝負です。2ラウンドを終了して、次の4名が全勝トップです。

桑原 博暉、甲斐 竜也、佐藤 翼、石橋 洸太

すばらしい！

負けても気にしないで！ 試合に慣れることが大切です。少しずつ強くなりましょう！

★9月22日（日）まちセン例会

★9月28日（金）チェス教室+懇談会

将棋とチェスの同時対局



将棋の羽生善治2冠（41）とチェスのフランス王者マキシム・バシエ・ラグラーブ氏（21）が17日、神戸市で将棋とチェスの同時対局に挑んだ。約200人が勝負の行方を見守る中、将棋は羽生氏、チェスはバシエ・ラグラーブ氏が勝った。

羽生氏の先手で始まり、持ち時間は各1時間。チェスと将棋を1手ずつ指してから相手に手番が移るルール。将棋は、羽生氏が飛車を使わないハンディ付きだった。

対局前に「同時にやるのは初めてで混乱しないか心配」と語っていた羽生氏は「局面を頭の中で切り替え、どちらを先に考えるかという面白さもあった」と振り返った。

奇抜なこの対局は15日から神戸市で開かれている「チェスプロブレム世界大会」の記念イベント。詰め将棋スタイルでチェスの技量を競うこの大会の日本開催は初めて。

(スポニチの記事より引用)